

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 7 部門第 2 区分
 【発行日】平成 19 年 1 月 11 日 (2007.1.11)

【公開番号】特開 2004-214652 (P2004-214652A)
 【公開日】平成 16 年 7 月 29 日 (2004.7.29)
 【年通号数】公開・登録公報 2004-029
 【出願番号】特願 2003-422290 (P2003-422290)
 【国際特許分類】

H 0 5 K 1/16 (2006.01)
H 0 1 P 3/08 (2006.01)
H 0 1 P 5/02 (2006.01)
H 0 1 P 5/08 (2006.01)
H 0 5 K 3/46 (2006.01)

【F I】

H 0 5 K 1/16 D
 H 0 1 P 3/08
 H 0 1 P 5/02 6 0 3 C
 H 0 1 P 5/02 6 0 3 D
 H 0 1 P 5/08 L
 H 0 5 K 3/46 Q

【手続補正書】
 【提出日】平成 18 年 11 月 17 日 (2006.11.17)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0 0 0 2
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【0 0 0 2】

インピーダンス整合を行うには種々の方法があるが、これらのインピーダンス整合は、異なる性能特性を有し、物理空間を必要とし、付随するコスト、即ち経済的検討事項を伴う。例えば、キャパシタ及びインダクタのような集中素子が使用されるが、これらの素子は、非常に限られた帯域幅、即ち周波数範囲に渡って適度なインピーダンス整合を行ない、組立て空間及び物理空間を必要とする傾向にあるため、携帯電話のようなコスト優先の用途においては問題となる。ストリップライン及びマイクロストリップラインを使用する分布ネットワークが帯域幅の問題を解決するために使用される。これらの分布ネットワークが F R - 4 プリント回路ボードのような従来の基板上に形成される場合、通常の組立てコストは小さくなるか又は無くなる。しかし、これらの分布ネットワークは、携帯電話などの携帯機器のような空間優先用途において、問題の周波数で利用可能な面積に対して大きな物理面積を必要とする。別々の分布素子を使用することができるが、コスト及び空間が依然として問題となる。明らかに、空間効率及びコスト効率が良く、しかも適切な性能特性を示す分布キャパシタに対するニーズが存在する。

【特許文献 1】米国特許 U S - 6 , 6 0 6 , 7 9 3
 【特許文献 2】米国特許 U S - 6 , 1 8 5 , 3 5 4
 【特許文献 3】米国特許 U S - 6 , 1 0 3 , 1 3 4